

# ウンカ情報 No. 4

平成22年9月8日  
島根県病害虫防除所

## ..... トビイロウンカによる坪枯れ .....

トビイロウンカによる坪枯れ被害が一部地域で発生しています。現地では圃場での発生に注意し適切な防除をお願いします。また、収穫期が近いことから薬剤の使用時期等を十分確認して使用してください。



### 1. 発生状況

- (1) トビイロウンカによる坪枯れが出雲市、隠岐の島町などの「コシヒカリ」圃場で発生しています。現状では坪枯れが中心ですが、一部圃場では帯状の被害による枯死も見られます。
- (2) 9月7日に「きぬむすめ」圃場を中心に25株払い落とし調査を行いました。前回調査時に比べて株当たり虫数、発生圃場率ともに高まっています。

| トビイロウンカ  | 9月上旬     | 8月中旬    | 平年値(8月下旬) |
|----------|----------|---------|-----------|
| 25株当たり虫数 | 17.8頭    | 2.0頭    | 2.5頭      |
| (最小~最大)  | (0~204頭) | (0~12頭) |           |
| 発生圃場率    | 66.7%    | 52.2%   | 21.1%     |

- (3) 広島地方气象台(9月3日発表)によると、「向こう1か月の気温は平年より高く推移する」との予報が発表されています。今後の気象条件はトビイロウンカの増殖に助長的であり、被害の拡大が懸念されるので各地域での発生に十分注意してください。

### 2. 防除

- (1) トビイロウンカの発生は地域や圃場毎に大きく異なるので、それぞれの圃場の発生状況を必ず確認する。
- (2) トビイロウンカは株元に多く生息するため、薬剤が株元までかかるように丁寧に散布する。
- (3) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある薬剤を使用するとともに、収穫前使用日数や総使用回数、使用量又は希釈倍率等を遵守する。また、人や周辺動植物に影響がないように飛散防止を徹底する。

(5) 薬剤

| 薬剤名                           | 使用時期     | 使用回数 | 使用量・倍率     |
|-------------------------------|----------|------|------------|
| ジノテフラン液剤                      | 収穫7日前まで  | 3回以内 | 1000倍      |
| ジノテフラン水溶剤                     | 収穫7日前まで  | 3回以内 | 3000倍      |
| ジノテフラン粉剤<br>(商品名：スタークル、アルバリン) | 収穫7日前まで  | 3回以内 | 3 kg/10a   |
| ダントツ水溶剤                       | 収穫7日前まで  | 3回以内 | 4000倍      |
| ダントツフロアブル                     | 収穫7日前まで  | 3回以内 | 5000倍      |
| ダントツ粉剤                        | 収穫7日前まで  | 3回以内 | 3～4 kg/10a |
| P A P 粉剤 3 DL                 | 収穫7日前まで  | 2回以内 | 3 kg/10a   |
| キラップフロアブル                     | 収穫14日前まで | 2回以内 | 1000～2000倍 |
| キラップ粉剤                        | 収穫14日前まで | 2回以内 | 3～4 kg/10a |
| ベストガード粉剤                      | 収穫14日前まで | 4回以内 | 3～4 kg/10a |
| ベストガード水溶剤                     | 収穫14日前まで | 4回以内 | 2000～4000倍 |
| スミチオン粉剤3DL                    | 収穫14日前まで | 3回以内 | 3～4 kg/10a |
| チェス水和剤                        | 収穫14日前まで | 2回以内 | 2000倍      |

(注) 防除の際には、島根県農作物病害虫雑草防除指針を参照すること。  
上記は使用時期が収穫7～14日前までの薬剤を掲載した。